



学校便り

高甫っ子

令和2年11月27日

NO 15

須坂市立高甫小学校

文責 黒岩

【学校教育目標】 明日の日本になう子ども たくましく かしく ほがらかな 高甫っ子

みなさん 生まれてきてくれて ありがとう

11月26日に予定していましたPTA人権講演会は、コロナ感染拡大防止のため、急遽、保護者の皆さんの参加を取りやめました。楽しみにされていた皆様には大変申し訳ありませんでしたが、ご理解の程よろしくお願ひします。当日は、高学年と低学年に分かれてお話を聞きました。話の概要は以下の通りです。



講師：高橋ピン子先生
(豊野高等専修学校養護教諭)

1、命の始まりの大きさ

おへそは、お母さんとお腹の中でつながっていた証拠です。命の始まりの大きさは、0.1mm程とされています。この大きさは、人間が目視できる最小サイズだと言われています。シャープペンシルの芯は0.5mmです。それよりも小さくて、黒い画用紙に針で穴を開けて、小さな明かりが見える程小さいものです。2ヶ月ほどでカシューナッツ(2cm)ほどの大きさになります。まだ、手はくっついていておしゃもじのような形をしています。

子どもはお母さんのお腹の中で成長します。私はそれを「命の部屋」(子宮)と呼んでいます。羊水の温度は37℃ほどで冷たいです。子どもの成長と共に羊水も汚れてきます。すると、赤ちゃんは汚れた羊水を飲んできれいになります。指しゃぶりを始めます。これはおっぱいを飲む練習をしているのです。肺の機能ができて、いよいよ出産の準備が整います。すると赤ちゃんは出産の信号を出します。誕生は赤ちゃんが決めるのです。

2、命の誕生

生まれるときの体重は、およそ3,000g、身長は50~60cm程です。へその緒は50~60cmです。赤ちゃんの頭は複数の骨でできています。だから命の道を通るときは、頭を縮めて生まれてきます。また、「帝王切開」によって生まれることもあります。これは窓を作って赤ちゃんを迎えに行く方法です。赤ちゃんは家族に会うために生まれてくるのです。

その昔、ローマの皇帝が、赤ちゃんが初めて出す声は何か実験をしました。ミルクをあげたり、おむつを替えたりするほかは何もしないでしばらく様子を見ていました。誰も話しかけない、抱っこしない、あやさない。すると、どの子も一才になる前に死んでしまったそうです。スキンシップの大切さが分かりました。(子どもの頃にはそれ相応のスキンシップが必要だそうです)

3、命をつなぐ

プライベートゾーンがあります。これは大事な部分です。水着で隠れる部分と唇です。ここはさわられたら「やめて」と言っているところ。もし言えなかったら、近くの大人に相談してください。みんな成長は違います。心配なことがあれば相談してください。そして自分のことも友達のこと大切にしてください。みんなが生まれたのは奇跡です。先祖の中でだれか一人でも欠けたら、今の自分はいません。だからこれからは皆さんが命をつなぐ番です。最後に みんな 生まれてきてくれてありがとう みんなの未来をこれからも応援していきます。

途中で出産の様子DVDを視聴しました。子どもたちは真剣に画面を見ていました。お母さんが、声を上げながら産もうとしているシーンです。周りの人は、お母さんに声をかけています。しばらくすると、「おぎゃ〜」と声があがりました。歓声と共に笑顔、そして両親の顔には涙。「こんにちは 赤ちゃん！」子どもたちが今回のお話を聞いてどんな感想を持ったのか、ぜひお家で聞いてください。

なかよしあゆ川旬間<秋>

11月9日(月)～11月27日(金)は、秋のなかよしあゆ川旬間でした。

学級ごと実態に応じて、参加的・体験的・協力的な活動を取り入れ、感じて考えて行動する人権教育の授業を行いました。

委員会・連学年による交流活動を行いました。環境委員会では、町並みクリーン作戦を実施しました。登校時に通学路に落ちているゴミを拾ってこようという企画です。普段、何気なく歩いている道路も、意識して歩くと結構ゴミを見つけることができました。スポーツ委員会ではスポーツ大会を企画しました。内容は「しっぽ取り」です。コロナ対策も踏まえて人数を減らして実施しました。今日は、1年生:2年生です。「お願いします」とあいさつをして始まりました。さあ3分間逃げ切れるか？



結果は、2年生の圧勝でした。まだまだ若い者には負けられないといったところです。ふれあい委員会ではこの期間に赤い羽根募金を行い、合計で12,377円集まりました。

あゆ川グループによる縦割り清掃を行っています。普段とは違う清掃分担を縦割り班で行います。一生懸命校舎を磨くと、一緒に心もどんどんぴカピカになりますね。



中校舎の一階廊下には「いいところ探しの干し柿」が飾られています。自分では気がつかない新しい自分に出会うことができました。

今回は、特別企画として校長の読み聞かせを行いました。学年にあわせて本を選びました。話の内容は子どもたちに聞いてください。

1年は「たった さんびきだけの いけ」

2年は「オレンジいろのペンギン」

3年は「となりのしげちゃん」

4年は「ネパールの子と私」(「あなたはあなたでいいの」より)

5年は「世界がもし100人の村だったら」

6年は「やさしさとはこだますこと」(「あなたはあなたでいいの」より)

須坂市人権教育強調月間

11月14日～12月15日

冬期のコロナ対策について

本格的な冬を前に、須坂市内はコロナ警報レベル4となりました。また、身近でコロナ感染及び濃厚接触という話題を耳にすることが多くなりました。寒冷期における換気対策という大変難しい時期を迎え、インフルエンザの流行期でもあります。ご家庭でも手洗いうがい、手指消毒等、感染防止のための対策をお願いします。

現在、教室内はエアコンを稼働して暖房に努めています。本来なら部屋を密閉して暖房効率を上げるところですが、コロナ感染防止のために常時窓を開けて換気に努めています。(窓を少し開け、室温は18℃以上を目安) 教室内の温度は一律ではないため、寒い場合は厚着をするなど個々での対応が必要になってきます。また、今年度よりエアコンの暖房による乾燥を防ぐために各教室に大型の加湿器を入れました。

寒い冬を乗り切るためにも十分な睡眠と栄養を心がけたいところです。また、風邪症状がある場合は無理をせず、自宅でゆっくり休むようにお願いします。毎朝の健康チェックをお願いします。



4年生社会見学

11月20日に4年生は社会見学を行いました。コースは、塩野浄水場→アートパーク(民俗人形博物館、版画美術館)→ながの環境エネルギーセンター・資源再生センターです。

浄水場では、川の水が少しずつきれいになっていくことに驚きました。もし、災害で浄水場が壊れたら、水のない生活です。そうならないように働いている方は、24時間体制で見守っているそうです。

新しく長野にできたながの環境エネルギーセンターはとて大きなものでした。須坂市で出たゴミもここで処理をしています。ゴミ焼却の熱で電気を起こしたり、燃え残りのスラグを建設資材に使ったりと無駄なく処理していることが分かりました。

校区内にあるアートパークでは、人形博物館と版画美術館に行きました。どちらでも体験学習ができて楽しかったです。



避難訓練実施



11月17日に予告なしの避難訓練を行いました。休み時間に火災発生です。子どもたちは、思い思いに過ごしていたので、突然の火災報知器の音に驚いていました。指示に従って近くの避難場所に集合。その後、上級生の誘導で校庭の集合場所へ移動。無事、全員避難できました。

本校の火災報知器は、校内では良く聞こえるのですが、校庭では良く聞こえないことが分かりました。また、放送の音も意識しないと聞き逃してしまうことが分かりました。

今後の訓練に活かしていきたいです。

干し柿を箱詰めしました

11月20日に5年生が干し柿をきれいに箱詰めしました。昨年と比べて柔らかく、おいしくできそうです。しばらく寝かせておいて、年末には家庭に持ち帰れそうです。お楽しみに！



マラソンをしました！

11月12日の体育集会で5分間走を行いました。明徳山はすっぽり雲の中に隠れていましたが、子どもたちは元気いっぱい汗を流しました。



PTA作業を実施しました

11月14日、早朝よりPTA役員の皆さんにお集まりいただき、PTA作業を実施しました。今回は、校舎周りの溝の清掃と校庭の落ち葉拾いを行いました。校庭周りの溝には、たくさんの落ち葉が積もり大変でしたが、これで、



いつ冬が来ても安心です。役員の皆さんに感謝です。ありがとうございました。

ヤマメ日記 卵がかえりました

11月12日に水槽に入れたヤマメの卵が、月末にはそのほとんどがかえりました。まだ、動き出しませんが、年度末には元気に泳ぎ出すと思います。

